

白川リバースクール

～カナディアンカヌー体験～



「川の自然と安全を学び、カナディアンカヌーで思いっきり遊ぼう」をテーマに夏季休業中に4回、白川リバースクール（川の自然学校）を行いました。場所は、白川わくわくランド前で、子飼橋をはさんで上・下流。10人のインストラクターから丁寧に教えてもらいました。

内容は、・川の流れを理解する・カヌーの漕ぎ方レッスン・川での泳ぎ方・ロープを使った救助方法・カヌー遊びなど昼食をはさんで5時間の充実した教室になりました。



まずは室内で漕ぎ方レッスン

水辺で準備体操

リバーウォッチング

子飼橋から泰平橋の下流まで、川の中から市街地を眺めながらカヌー下りをしました。ぐんと川幅が広くなり、気分的にもゆったりとする中で、街中に架かる橋を次々とくぐりぬけました。井川淵ではカワセミが飛び、川面に映る川沿いの木々の緑がきれいでした。



リバーツーリング

通称「びわん首」と呼ばれている所からカヌーで下り、途中、豊肥線の鉄橋の上流で水生生物の調査を行いました。早瀬になったこの場所はカヌー下りもスリル満点。いろんな流れを体験しながら子飼橋がゴールでした。

見つけた水生生物



モクスガニ



ヒラタドROMシ



シロタニガカゲロウ

秋

たくさんの学校・園で賑わいました!

来館された学校（園）**32校**
園児・児童・生徒・学生 **1450名**

(9月～11月)

総合的な学習・理科・社会科・図工・生活科など学習の目的はそれぞれでしたが、水生生物調査やストーンペインティング、流水実験、石探しなど主体的に活動する子どもたちの目は輝いていました。



白川の橋(3) 熊本西大橋



白川河口から3番目の橋。野口町と新土河原町を結ぶ橋で、渡河部橋長が269mと長い。

熊本市南西部地域の振興を図る上で重要な生活幹線になっているし、「第54回国民体育大会」では、会場「アクアドームくまもと」へのアクセス路線に架かる橋として重宝した。

渡鹿堰と大井手



渡鹿堰全景

渡鹿堰は治水の神様と言われる加藤清正が造った代表的な堰の一つです。この堰は、斜めに突き出して造られているのが特徴です。これは、洪水時に激しく流れる流水をやわらげ下流域を守る目的があると考えられ、通常は熊本市南部の田んぼを灌漑する目的があります。堰の先端に造られた樋門によって大井手に水を引き込み、一の井手から三の井手まで分流されます。大井手は、銀座橋の上流でまた白川に戻り、他の井手は緑川水系に流れます。一時期、大井手は家庭廃水処理の塩化ビニルの管が乱立し、どぶ川の様を呈していましたが、下水道の整備などで、随分きれいになりました。



一の井手へ



大井手への取水口

白川わくわくランド ニュース

発行

- 白川流域住民交流センター 利活用懇談会
- 白川流域住民交流センター (白川わくわくランド) 〒860-0854 熊本市東子飼町8-55 TEL・FAX(096)346-5454

ホームページアドレス <http://www.wakuwaku-land.com>
メールアドレス wakuwaku@wakuwaku-land.com

白川の小さい秋見—いつけた!!

子飼橋付近の白川や河川敷には、このところ、多くの子どもたちや、親子連れ、散歩の人々などの姿が見られます。思い思いに、先生と学習したり、石投げをして遊んだり、流れる水を眺めたり、くつろいだり、犬の散歩を楽しんだり……。「白川がぐっと身近になったなあ」という感じがします。子飼橋付近を歩いてみると、たくさんの秋の発見がありました。水制を造り伝統的な河川法を採用した多自然型川づくりも進められ、学習の場としてのフィールドが一層広がりました。



6.26水害後に造られたと思われる石列。右岸を守る。

竜神橋

水生生物調査に最適。草むらに熊本大学工学部裏の河川敷。小石と砂の河川敷では、バツヤやコオロギ。イチョウの木でついでモズが鳴く。稔りのころを迎えたセイバンモロコシを啄ばみに群スズメが集まる。

河川敷のムクやセンダンの実が稔り、ヒヨドリやムクドリたちが群がる。浅瀬ではカモが憩う。

大雨の時上流から流れてきたと思われる球根や種が河川敷に根を下ろし、ヒガンバナやタマズダの花が咲き、トマトやスイカが実をつけた。



センダンの実



稔りを迎えたセイバンモロコシ

子飼橋



こんな事しています。

参加しませんか? 寺子屋に!!

寺子屋

寺子屋 第V期 わくわく塾

参加者募集中

「白川が美しく見える場所を探そう!!」

テーマ

～川視術のすすめ～

「阿蘇の火! その神秘を探る!!!」

日時 平成14年12月14日(土) 13:00~16:00
平成15年1月25日(土) 13:00~16:00
場所 白川わくわくランド及び白川
講師 熊本大学工学部 小林 一郎 教授
内容 大人も子どもも忍者になって白川が一番美しく見える場所を探し、カメラに収めようとするもの。カメラを通して多様な空間の感じ方、見方を学ぶもの。

期間	講師	講義内容
平成15年 1/18 (土)	阿蘇博物館長 池辺 伸一郎 氏	阿蘇火山の恵みと脅威
2/8 (土)	阿蘇神宮 宮司 阿蘇 惟之 氏	阿蘇の歴史
3/8 (土)	京都大学大学院理学研究科付属 地球学研究施設火山研究センター助教授 須藤 靖明 氏	マグマ溜りのひみつ
4/12 (土)	国土交通省立野ダム工事事務所 調査設計課長 鵜木 和博 氏	環境に配慮したダム関連 工事の事例

寺子屋

四季の白川わくわく自然観察会

- 平成15年1月19日(日)
白川の冬鳥バードウォッチング
 - 平成15年2月16日(日)
小さな白川の春を探そう!
 - 平成15年3月16日(日)
白川の春の生物観察会
- 講師
環境カウンセラー
小林 修 氏 ほか



寺子屋

おいで
下さい!
寺子屋へ



図書紹介

前号で紹介しましたガイド「白川おたすけガイドブック」の内容を紹介します。
○白川の紹介
○白川の環境
○水辺の活動マップ
○水辺での活動計画 など
ご入用の方は白川わくわくランドにお問い合わせください。